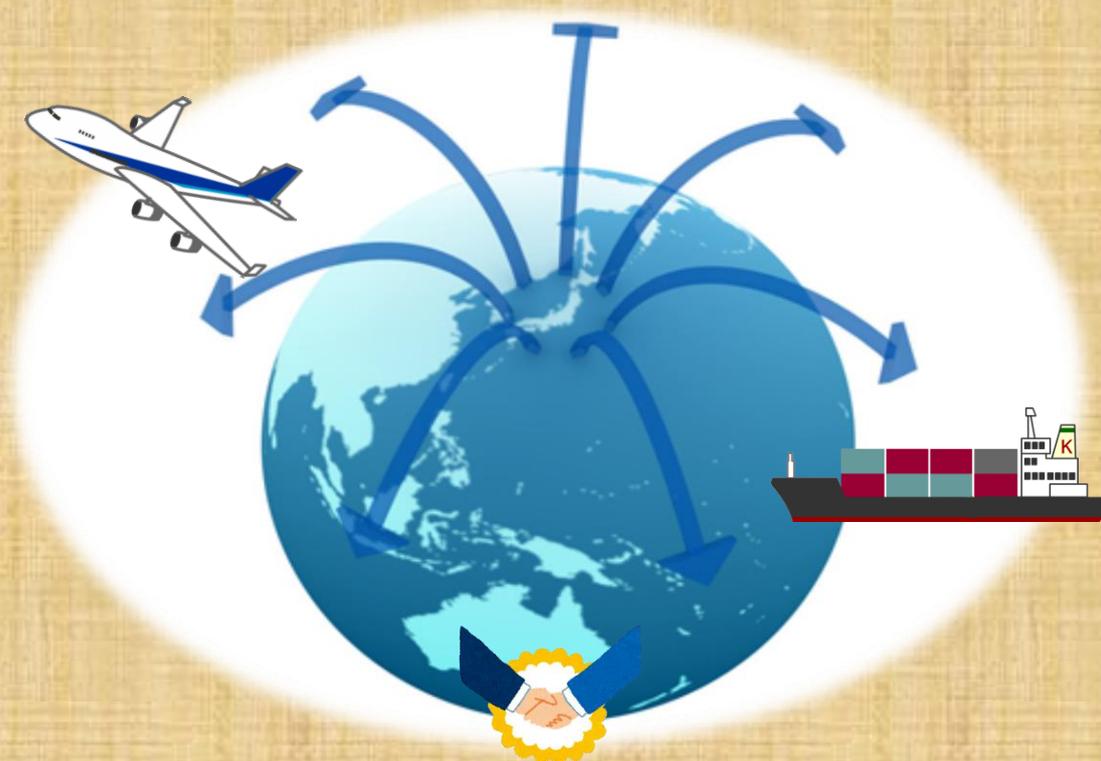


2023. 11

貿易ニュース鹿児島

Kagoshima Trade News



Contents

海外レポート（香港）	1
Information	5
新着図書情報	13
外貿港情報（鹿児島港・川内港・志布志港）	14
貿易相談のご案内	25
通訳・翻訳/メーリングリストのご案内	26
新規入会会員募集のご案内	27

（別巻）

鹿児島税関支署管内貿易概況（8月）

香港における ALPS 処理水の現状及びその影響について

鹿児島県香港駐在員 水之浦 希子

日本国内や鹿児島のニュースでも報道されているとおり、ALPS 処理水の海洋放出に伴う香港政府の禁輸規制により、日本から香港への輸出に大きな打撃を与えています。時間軸に沿って、各時期における香港現地の状況をご紹介します。

なお、本文は香港の状況について述べており、中国本土の状況とは異なる旨申し添えます。



令和 5 年 7 月 ALPS 処理水の海洋放出に係る香港政府の対応

ALPS 処理水の問題について、香港では今年の年始頃から少しずつ表面化し、在香港の日本食品等に関わる各企業は危機感を抱いていました。その風当たりが本格化したのが、7 月からでした。

7 月 11 日、香港政府の行政会議で ALPS 処理水の海洋放出をめぐる議論が行われ、行政会議議長の葉劉淑儀（レジーナ・イップ）氏は、在香港日本国総領事館の岡田健一総領事に処理水放出への反対を訴え、李家超（ジョン・リー）行政長官は日本の多くの都道府県からの水産物を禁止する可能性を話し、リスクは未知数だと述べました。

その翌日の 12 日、香港政府環境生態局の謝展寰局長は、日本が ALPS 処理水の海洋放出を開始した場合、10 都県（東京、福島、千葉、栃木、茨城、群馬、宮城、新潟、長野、埼玉）を産地とする水産品の輸出を禁止する措置の計画を発表しました。生鮮、冷蔵、冷凍、乾燥またはその他の方法で保存されたすべての水産物と海水由来の塩や海藻が禁輸となります。

令和 5 年 7 月 禁輸措置計画発表後の状況

香港政府による禁輸措置計画の発表を受け、県香港事務所より各関係企業・機関に聞き取り調査を行いました。

鹿児島県産ブリを香港へ輸出している商社からは、「現時点で大きな影響を受けているわけではないが、処理水排出までは様子見をしたいとキャンセルする取引先もある。」とコメント。マカオへ鹿児島県産品全般を輸入している商社からは、「風評被害の影響を計る事は難しいが、負の要素しか生じないだろう。日本産を使用していないから安全だといった宣伝も生じてくるのではないか。」と危機感を示していました。また、ジェトロ香港による聞き取り調査でも、「規制がかからないものについても風評を懸念して取引に影響しているケースが出ている。」と語る企業が多かったといます。

それぞれの企業の経営形態（商社・飲食店等）や取り扱い品目によっても感覚は異なるが、どの企業も少なからず影響が出ていると回答いただきました。

令和5年8月 ALPS 処理水海洋放出後の状況

日本政府が8月24日よりALPS処理水の海洋放出を開始することに伴い、香港政府は当該禁輸措置を同日から始動しました。マカオ政府も同様に禁輸措置を始動し、10都県産の水産品に加えて、さらに野菜、果実、肉製品等の生鮮食品も輸入禁止としました。

当該禁輸措置の実施に合わせ、香港へ輸入する際の通関検査が実質的に強化され、水産品のみならず、野菜などそのほかの生鮮食品へも検査強化の影響が広がっていきました。マカオ政府は、日本からの輸入貨物の検査を全面的に強化すると正式に発表しました。

また、処理水問題は香港の現地メディアにより連日盛んに報道され、そのような批判的な報道を見て、日本産食品全般の安全性を疑う香港市民は確実に増えたと思います。

また、観光業への影響も一定程度発生しており、香港大手旅行会社は、「香港での9月～11月の日本行きの団体ツアーの申し込みが20%減少した。しかし悪影響は2～3週間以内に解消されるだろう。」と語りました。

一方で、中国本土では日本の関係機関等に嫌がらせ電話をかけて抗議するなどの事件が日本でも連日報道されていましたが、それと比較し、在香港日本総領事館前での小規模な抗議活動が断続的に行われている事例はありますが、香港市民の反応は比較的冷静であり、当所関係者含め、嫌がらせを受けた等の事例は聞いておりません。

ALPS処理水海洋放出直後の時点で、メーカー・商社・物流会社・飲食店等各方面から風評被害について懸念しているとの声が多く挙がりましたが、処理水放出による影響の実態はまだ未知数でした。

令和5年9月～10月 明暗分かれる日本食料理店

9月～10月にかけて、当所より再度各関係企業・機関に聞き取り調査を行い、各所から実際に受けている影響等を伺うことができました。

まずは、香港における日本食料理店についてです。現在香港にある飲食店約17,000件のうち、中国料理レストランが一番多く、約2,000軒で12.1%、それに次いで日本料理レストランは約1,300軒で8.1%、後に続く3位のタイ料理レストランは約370軒で2.2%を占める¹ことからわかるように、他国料理と比べて香港での日本食は圧倒的なシェアを誇り、非常に人気であることが窺えます。

ここ数年で、香港市民の間で「OMAKASE」という、お客さんのオーダー制ではなく、シェフがコース料理を決めて提供する飲食形態が非常に人気です。このような飲食形態を提供する高級日本料理店での売上げが全体的に落ちていると聞いています。しかし、その中でも、老舗店においては、予約が何か月先まで埋まっている状況は変わらず、ずっと満席状態である一方で、ここ数年で新しく開いたような料理店は非常に苦戦しており、売上が5～

¹ 香港統計局資料を基にジェトロ香港作成(2022年8月3日現在)

8割減少したところもあります。

こういった高級料理店とは対照的に、日本でも馴染みがある「スシロー」や「元気寿司」等の寿司チェーン店では毎日長蛇の列が並んでおります。

なぜ同じ日本産食品を取り扱うのにも関わらず、チェーン店と高級料理店とでこれほどの差が生じるのか、その理由の一つとして、それぞれの客層、すなわち若年層と比較的上の年齢層との考え方の違いにあると考えます。若年層は処理水排出による健康への影響は特段気にしておらず、今まで通り日本食を楽しみたいと考える人が多い。しかし、そういった若年層には高級日本料理店に行く金銭的余裕はなく、比較のお手頃なお店に集中してしまいます。一方で、以前から高級な日本料理店に通っていた比較的上の年齢層の方は、健康面や立場を気にして、日本食を控える傾向にあります。

令和5年9月～10月 小売店での様子

現地市場調査の一環として、定期的に香港の各小売店（現地系・日系を含む）を訪問しておりますが、どの店舗でも寿司や刺身コーナーが設けられており、たくさんの品数が並んでいます。（やはり日系小売店の方が品数が多いです。）しばらく売り場で観察し、購入されていく香港人に少しお話を伺ったところ、「日本のどこの産地のものかは気にするようになった。」と話す方もいれば、「特段気にしていなく、変わりなく美味しいのでいつも購入している。」と話す方もいらっしゃいました。

同時に、気になる標識もありました。スルメやかつおぶし等の水産加工品売り場では、どの商品（禁輸措置が施された10都県以外の商品も含む）にも「これは8月24日以前に日本から輸出された商品です。」と明記された標識がありました。処理水排出の影響を気にする一般消費者への配慮の一環だと考えます。



近隣国の反応

鹿児島県では、シンガポール・台湾・ベトナム等各国での県産品の販路拡大を目指し、各種事業を行っております。当所で把握している各国の情報についても簡単にご紹介します。

シンガポールにおいては、政府やメディアを含め、中立的な立場を維持しており、国内では、通常どおり気にせず日本産食品を食べる人がいる一方で、当面は日本食を控えるという人がいるなど、さまざまな反応が見られています。²

台湾においては、台湾政府による輸入規制の強化は行っておらず、モニタリング等の検査結果に異常はなかったとして、消費者に安心してほしいと呼びかけています。ジェットロによ

² 青沼秀人, "シンガポールメディア、ALPS 処理水放出後は中立的な報道維持". ジェトロビジネス短信. 2023/08/31. <https://www.jetro.go.jp/biznews/2023/08/fb763b1cb1a9f149.html>

るヒアリング結果として、日本水産品売り上げへの影響は限定的だと述べています。³

ベトナムにおいても、ジェットロによるヒアリング結果として、一部影響が見られるものの限定的であり、積極的に日本産水産品を使用したプロモーションイベントの開催に意欲的な企業も見られると述べています。⁴

終わりに

風評被害による影響はメディアが発信する情報量に比例していると考えます。最近は、現地メディアの批判的な報道も少なくなっている印象であり、香港における日本産食品への風評被害は少し落ち着いてきている現状です。

香港は人口規模が大きくはないものの、香港市民の日本産品への高い関心や、他国に比べた際の関税規制等の少なさもあり、日本の農林水産物・食品の輸出先として国・地域別では2020年まで16年連続で1位、2021年以降は2位となっており、本県にとっても大変重要な市場です。一刻も早い影響の収束を祈るばかりですが、当所としましても、香港政府の動向やその影響を注視しながら、本県産品を引き続きPRしていきます。

³ 江田真由美. "ALPS 処理水放出後、日本産水産品売り上げへの影響は限定的". ジェトロビジネス短信. 2023/09/29.
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2023/09/e8560c53cc3ff537.html>

⁴ 新田和葉. "ベトナム、ALPS 処理水放出後も日本産食品販売への影響は限定的". ジェトロビジネス短信. 2023/10/05.
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2023/10/3fc17bc5f97b20f3.html>

【Information】

「シンガポール経済セミナー開催」のご案内

鹿児島県国際交流課では、令和5年11月22日(水)に、「第21回鹿児島・シンガポール交流会議」の開催に合わせ、下記のとおり、シンガポール経済セミナーを開催します。シンガポール国際企業庁のご協力の下、日本に進出しているシンガポール企業からシンガポールの産業振興策や日本企業との連携事例を紹介いただくとともにビジネスマッチングの機会を見据えて、最新のシンガポール経済情報が得られる貴重な機会です。ぜひ奮ってご参加くださいますようご案内申し上げます。

【日 時】 令和5年 11月22日(水) 10:00～12:00

【会 場】 城山ホテル鹿児島 ルビー(5F)

【参加費】 無料

【概 要】

(1)講演 「シンガポール国際企業庁の取組、対日投資の現状等」(シンガポール国際企業庁ファビアン・タン地域ディレクター)

(2)講演 「シンガポール企業の取組(1)」(SWAT Mobiloty Japan株式会社末廣将志代表取締役)

(3)講演 「シンガポール企業の取組(2)」(CRUST JAPAN株式会社平野宏幸ディレクタ

【申込締切】 11月8日(水)

※お申込みはこちらから。 <https://shinsei.pref.kagoshima.jp/ddzY7HgS>

お問い合わせ

鹿児島県観光・文化スポーツ部国際交流課国際企画係 担当: 本田、植田

TEL: 099-286-2303

E-mail: kokusaikikaku@pref.kagoshima.lg.jp

JETRO「中小企業海外ビジネス人材育成塾 1月期」のご案内

11月6日(月)より参加者の募集を開始します！

～アフリカ地域／食品分野／機械分野の計4コースを開講～

本講座は、これから初めて海外バイヤーとの輸出商談に臨む方や、基礎からの学び直しを希望する方に向けた無料研修です(中小企業限定)。合計7回・約3カ月にわたる講義、ワークショップ、個別指導などを通じて、輸出の基礎知識と商談スキルを効果的に習得します。1月期の4コースの募集は11月6日(月)より開始します。皆様のご応募お待ちしております。

▼各コースの詳細

◇アフリカ地域(対象地域: エジプト、ケニア、ナイジェリア、南アフリカ)

<http://www.jetro.go.jp/events/igc/c05b3af79a6a4b53.html>

◇食品分野(対象地域: 香港、タイ)

<http://www.jetro.go.jp/events/igc/e139f890ea74b9a4.html>

◇食品サンプルショールーム参加者限定コース(対象地域: パリ[欧州全域])

<http://www.jetro.go.jp/events/igc/8f027a99047ad888.html>

◇機械分野(対象地域: 米国、台湾、バングラデシュ)

<http://www.jetro.go.jp/events/igc/381fbb9d737de81e.html>

お問い合わせ

ジェトロ海外ビジネス人材育成課

TEL: 03-3582-8355

E-mail: ikusei@jetro.go.jp

【Information】

JETRO「有望輸出先国・地域におけるカントリーレポート等の発行」のお知らせ

政府は、日本産農林水産物・食品の有望な輸出先国・地域において、在外公館、JETRO海外事務所、JFOODO海外駐在員を主な構成員とする輸出支援プラットフォームを設置し、輸出事業者を包括的・専門的・継続的に支援することとしています。

輸出支援プラットフォームでは、現地展開している事業者や現地の日本食レストラン等と輸出支援プラットフォーム協議会を設け、協議会と協力して、(1)カントリーレポートの作成、(2)現地主導でのプロモーションの推進、(3)現地拠点を設ける事業者やこれから現地に進出する事業者支援、(4)日本食レストラン等と連携した日本食の普及等を実施します。

輸出支援プラットフォームでは、次のとおりカントリーレポートを発行しました。ぜひご覧ください。

■農林水産物・食品 輸出支援プラットフォーム

<https://www.jetro.go.jp/agriportal/platform.html>

お問い合わせ ジェトロ 農林水産食品部 戦略企画課

TEL: 03-3582-4966

E-mail: AFA@jetro.go.jp

JETRO『国際ビジネス情報番組「世界は今 -JETRO Global Eye」』のご案内

ジェトロでは、国際ビジネス情報番組「世界は今 -JETRO Global Eye」を配信中です。世界の経済・産業の最新動向や貿易・投資などの国際ビジネスに役立つ情報をインターネットを通じ、皆様にお届けしています。ぜひご覧ください(視聴無料)。

◆Sushiが世界で人気となったワケ 日本のごはんロボがフル稼働！ (2023年10月5日)

<https://www.jetro.go.jp/tv/internet/2023/10/1bec09bd7b6da2c7.html>

⇒ 世界で人気のすし。各国ならではのさまざまなSushiが生まれているなか、シンガポールの“自由過ぎる巻きずし”の店などの取材を通じて日本の“ごはんロボ”の活躍に迫ります。

◆最新技術で食の課題に挑む！ フードロスから人手不足まで(2023年10月12日)

<https://www.jetro.go.jp/tv/internet/2023/10/42d6696b224a8b81.html>

⇒ この夏、ロボットが野菜を育てる植物工場が稼働したシンガポール。今、食に関する最新技術が続々と誕生しているなか、世界が抱える課題に挑む企業の取り組みに迫りました。

お問い合わせ ジェトロ情報データ統括課 映像メディア班

TEL: 03-3582-5219

E-mail: PLG-TV@jetro.go.jp

【Information】

「青果物輸出産地セミナー & マッチング in九州南部 2023」の開催について(ご案内)

九州の青果物(果物・野菜)の取扱いに積極的な商社・バイヤー様をお招きし、対面でのセミナー・交流会・商談会を開催します。(商談会に関してはオンラインでの参加も可能です)

【日時】 2023年11月21日(火) 12:30~18:30(終了予定)

【会場】 鹿児島城山ホテル(駐車場・鹿児島中央駅-ホテルシャトルバス有※貸切ではありません)

【参加費】 無料 ※交通費は参加者負担となります。

【プログラム(予定)】

■1部: 輸出先進事業者によるセミナー

■2部: 商談会

■3部: 試食交流会

【参加予定の国内商社】※当日までに追加・変更となる可能性があります

・九州農水産物直販株式会社 ・Wismettacフーズ株式会社 ・国分グループ ・株式会社シングローバル・日本農業

※お申込みはこちらから。

・セミナー & マッチング: <https://www.secure-cloud.jp/sf/business/1695304178ClfaXPPv>

(商談会: 11/2日、セミナーのみ: 11/14日)

・試食会出品申込 (11/2日): <https://www.secure-cloud.jp/sf/business/1688100327xwqPwfVH>

お問い合わせ

アクセントゥア株式会社(事務局) 担当: 近藤、埴田、吉満、小栗

TEL: 090-1915-1603 (担当: 近藤) 営業時間: 平日10:00~18:00

E-mail: Agri_Exportation_JP@accenture.com

「GFP九州輸出フォーラムin熊本」に係る参加者募集のご案内

九州各県の一次産品・加工食品の輸出拡大を主眼に置きつつ、輸出に役立つ行政機関からの情報提供をはじめ、①輸出産地づくりの事例共有や、②TSMC進出等で可能性が広がる台湾向け輸出連携、③行政機関の支援事業を活用した輸出拡大のポイントを紹介するセミナー等を実施します。最後には九州エリアの産品を積極的に取り扱う国内商社・生産者・行政等の皆さまと今後の九州からの輸出を考える合同相談会を実施します。既に輸出に取り組んでいる方だけでなく、これから輸出を目指す方・興味を持っている方も含め、九州エリアからの輸出を目指す事業者間のコラボレーション機会になりますので、ご参加を心よりお待ちしております。

【日時】 11月29日(水)13:00~18:00

【会場】 熊本城ホール2F シビックホール

【参加費】 無料 ※会場までの移動費については、参加者負担となります。

【参加対象】 九州内の生産者・食品メーカー様、輸出商社・物流業者

【申込締切】 11月10日(金)

※詳細はこちらから。

<https://www.maff.go.jp/kyusyu/keiei/zipko/gfpc.html>

※お申込みはこちらから。

<https://www.secure-cloud.jp/sf/business/1696304180FJBWxXaEu>

お問い合わせ

アクセントゥア株式会社(事務局) 担当: 吉満・中塚・小栗

営業時間: 平日10:00~18:00

E-mail: Agri_Exportation_JP@accenture.com

【Information】

「GFP 鹿児島フォーラムin大隅」に係る参加者募集のご案内

大隅エリアの一次産品や水産物の輸出拡大を主眼に置きつつ、先進的な輸出取組を行う生産者・メーカー様をお招きしたセミナーや、県産品を積極的に取り扱う国内商社・生産者・行政等の皆さまと今後の輸出を考えるグループワーク、志布志港の視察を実施いたします。既に輸出に取り組んでいる方だけでなく、これからはじめての輸出を目指す方・興味を持っている方も含め、大隅エリアからの輸出を目指す事業者間のコラボレーション機会になりますので、ご参加を心よりお待ちしております。

- 【日時】 11月28日(火)13:00~17:30
【会場】 志布志湾大黒リゾートホテル3,4階
【参加費】 無料 ※会場までの移動費については、参加者負担となります。
【参加対象】 大隅エリアの生産者・食品メーカー様、輸出商社・物流業者
【申込締切】 11/14(火) 17:00

※詳細はこちらから。

<https://www.gfp1.maff.go.jp/uploads/2023/10/GFP-Kagoshima-Forum-in-OSUMI.pdf>

※お申込みはこちらから。

<https://www.secure-cloud.jp/sf/business/1695866374jSdmsZql>

○第3部志布志港の視察はマイクロバスで移動します。参加者を事前に提出する必要があるため、志布志港の視察をご希望される方は事前に申込をお願いいたします。

お問い合わせ

アクセントゥア株式会社(事務局) 担当:木村、中塚、木田、小栗
TEL:090-2916-2218(担当:木村) 営業時間:平日10:00~18:00
E-mail: Agri_Exportation_JP@accenture.com

「台北市進出口商業同業公会(IEAT)ウェブページへの商品情報の掲載」のご案内

日本台湾交流協会は、2023年6月、日本産農林水産物・食品の更なる輸出拡大に向けて輸出事業者を支援するため、「農林水産物・食品輸出支援プラットフォーム」(以下、台湾PF)を立ち上げ、日本産農林水産物・食品の輸出拡大に向けた現地発の活動を行っています。台湾PFでは、台湾の多くの食品輸入業者が加盟している「台北市進出口商業同業公会」(以下、IEAT)のウェブページに掲載する、日本産食品の情報を募集しております。台湾PFに、日本から台湾に輸出したい日本産食品の商品情報をお送り頂きましたら、頂いた情報を取りまとめ、台湾PFからIEATに以下ウェブページ「IEAT全球貿易商機」での掲載を依頼いたします。台湾バイヤーの目に留まる機会を増やし、新たな販路拡大にご活用ください。「IEAT全球貿易商機」リンク: https://www.iatepe.org.tw/trade/board.aspx?utm_campaign=header

掲載を希望される場合、下記の台湾PFのHPにございます「(募集します!)IEATウェブページへの商品情報の掲載」から、下記申請要領をご確認のうえ、様式1、様式2を記載頂き、メール末尾のご連絡先までご連絡ください。台湾PFのHPリンク: <https://www.koryu.or.jp/business/platform/>

※申請に当たっては、申請要領を必ずご確認ください。

商品掲載フォーマットについては、中国語(繁体字)もしくは英語でご記入いただきますようお願いいたします。また、申請の際、(1)GFPへのご登録、および(2)JETROの運営する海外バイヤー向けオンラインカタログJapan Streetへの登録が要件となっておりますので、まだ登録されていない方は先に登録の上、申請ください。 Japan Streetリンク: https://www.jetro.go.jp/services/japan_street.html

お問い合わせ

日本産農林水産物・食品輸出支援プラットフォーム(台湾)
E-mail: taiwan-pf-k1 ★tp.koryu.or.jp (★を@に置き換えてください)

【Information】

『JFOODO海外フィールドマーケットによる現地「食」情報レポート』のご紹介

日本食品海外プロモーションセンター(JFOODO)では、米国(ニューヨーク、ロサンゼルス)、フランス(パリ)、香港、台湾、中国(上海)、シンガポールの7都市に海外フィールドマーケット(以下「海外FM」)を配置しております。海外FMは、日本食プロモーションにおける海外現地でのサポートや、現地消費者等の情報提供を行っています。今回ご紹介する現地「食」情報レポートでは、各都市の海外FMが、現地の消費動向をはじめとする「食」にまつわる「生」の情報を、毎回テーマを変えて様々な角度からお届けしております。統計や調査資料では読み取りにくい、現地消費者や市場の「生」の声のわかるレポートです。現地理解や戦略策定における仮説設定の材料としてお使いください。輸出に取り組む皆様の海外へのマーケットイン発想のヒントとなれば幸いです。

◆◆ 最新レポート ◆◆

ニューヨーク Vol.6 食生活や日本食についての座談会(2023年9月)

台湾 Vol.4「日本」を届ける小売店舗 関係者インタビュー(2023年9月)

※第2弾、および他の国のレポートも今後掲載予定ですので、ご期待ください。

◆◆ 掲載場所 ◆◆

下記URLにアクセスし、レポートをダウンロードしてください。

https://www.jetro.go.jp/jfoodo/archive/fm_report.html

お問い合わせ

日本食品海外プロモーションセンター(JFOODO)

TEL: 03-3582-8344

E-mail: JFA@jetro.go.jp

農林水産省「ALPS処理水の海洋放出に伴い規制を強化した国・地域に関する情報」について

農林水産省から、ALPS処理水の海洋放出に伴い規制を強化した国・地域に関する情報についてお知らせいたします。今般、ALPS処理水の海洋放出に伴いロシアが規制を強化しました。先般規制を強化した中国・香港・マカオも含めて具体的な規制の内容については農林水産省ウェブサイトが発信しており、随時更新する予定ですので必要に応じてご覧いただきますようお願いいたします。

※詳細はこちらから。

https://www.maff.go.jp/j/export/e-shorisui/kaiyou_houshutsu.html

お問い合わせ

農林水産省 輸出・国際局規制対策グループ

TEL: 03-3502-8111(内線3434) ダイヤルイン: 03-6744-1775

【Information】

JETRO「有望バイヤーとのオンライン商談マッチング」のご案内

ジェトロ農林水産・食品部では、海外在住の農林水産・食品の専門家が発掘した現地有望バイヤー（食品分野）の新たなニーズを、引き合い案件として日本企業の皆様へ提供しています。日本企業の皆様から応募いただいた商品の中で、バイヤーが興味・関心を持った企業・商品については、専門家とジェトロがオンライン商談をアレンジして同席、通訳の手配もこちらで行います。

現在、中国のバイヤーより4件の引き合いが来ております。

下記の案件のいずれかに応募希望される場合は、ウェブサイトの申し込みページよりご応募ください。

- ・飲料
- ・お酒、ウイスキーなど
- ・麺類
- ・ケーキなど

※詳細・お申込みはこちらから。

<https://www.jetro.go.jp/events/aff/b27785136246817e.html>

締切：2023年11月15日（水）

お問い合わせ

ジェトロ 農林水産・食品市場開拓課（担当：野村、村井）

TEL：03-3582-5649

E-mail：AFF-MARKET@jetro.go.jp

JETRO「海外マーケットセミナー」のご案内

日本産食品の輸出に本格的に取り組むには「海外市場の最新情報」を知ることが必須条件。海外拠点を持つジェトロだからこそできる食品輸出ウェビナーを無料でお届け中です。今回ご案内するのは「ホーチミン編」「メキシコ編」。現地在住の専門家が最新のマーケット情報や輸出拡大のヒントなどをコンパクトにお伝えします。オンデマンド配信でご都合の良いタイミングでご視聴いただけます。ぜひ今後のビジネスにお役立て下さい。

<ホーチミン編>

- 講演題目：ベトナム食品市場の今と今後のトレンド予想
- 配信期間：2023年10月20日（金）10:00～2023年12月19日（火）10:00（予定）
- お申込み：<https://www.jetro.go.jp/events/aff/5249fa9a92310ce8.html>

<メキシコ編>

- 講演題目：未開拓の有望市場「メキシコ」における日本食ビジネス
- 配信期間：2023年10月23日（月）10:00～2023年12月22日（金）10:00
- お申込み：<https://www.jetro.go.jp/events/aff/9774239255b33873.html>

【主催】：ジェトロ農林水産・食品市場開拓課

【参加費】：無料

【定員】：なし

【開催方式】：オンライン開催（オンデマンド配信）

お問い合わせ

ジェトロ 農林水産食品部 市場開拓課

TEL：03-3582-5649

E-mail：aff-cdr@jetro.go.jp

【Information】

見本市情報

～国内開催見本市～

開催期間	見本市名	URL
11月1日(水)～ 11月2日(木) インテックス大阪 2号館	第3回 デジタル化・DX推進展(ODEX)大阪会場【情報・通信、OA機器】	https://www.jetro.go.jp/j- messe/tradefair/detail/129032
11月8日(水)～ 11月10日(金) ポートメッセなごや (現地・オンライン 同時開催)	メッセナゴヤ2023 【環境、製造・生産技術、地域的ビジネス】	https://www.jetro.go.jp/j- messe/tradefair/detail/128831
11月8日(水)～ 11月10日(金) 朱鷺メッセ 新潟 コンベンションセン ター	第15回 食の国際総合見本市 フードメッセin にいがた2023 【農林水産・食品、店舗用設備・機器、ディスプレイ、包装】	https://www.jetro.go.jp/j- messe/tradefair/detail/129504
11月13日(月)～ 11月15日(水) 神戸サンボーホー ル(現地・オンライン 同時開催)	第3回ジャパンパールフェア 2023 【アクセサリ、地場産業】	https://www.jetro.go.jp/j- messe/tradefair/detail/130903
11月14日(火)～ 11月15日(水) マリンメッセ福岡	FOOD STYLE Kyushu 2023 【農林水産・食品、店舗用設備・機器】	https://www.jetro.go.jp/j- messe/tradefair/detail/128837
11月15日(水)～ 11月17日(金) 幕張メッセ (現地・オンライン 同時開催)	Inter BEE 2023 【放送、情報・通信、先端技術】	https://www.jetro.go.jp/j- messe/tradefair/detail/128832
11月15日(水)～ 11月17日(金) パシフィコ横浜	EdgeTech+ 2023 【コンピュータ、通信、情報処理、電気・電子】	https://www.jetro.go.jp/j- messe/tradefair/detail/127188
11月15日(水)～ 11月17日(金) 東京ビッグサイト	Japan Home & Building Show 2023 - 第45回 ジャパンホームショー 【建築、環境、インテリア用品】	https://www.jetro.go.jp/j- messe/tradefair/detail/127705
11月29日(水)～ 12月1日(金) 東京ビッグサイト (現地・オンライン 同時開催)	VACUUM2023真空展 【機械・工業技術、測定・試験機器、産業用機器・設備】	https://www.jetro.go.jp/j- messe/tradefair/detail/127602
11月29日(水)～ 12月2日(土) 東京ビッグサイト (現地・オンライン 同時開催)	2023 国際ロボット展 【機械・工業技術、通信、情報処理、コンピュータ】	https://www.jetro.go.jp/j- messe/tradefair/detail/124989

※掲載されている見本市情報(開催時期や内容)は主催者により変更、延期、中止されることがあります。

【Information】

見本市情報

～海外開催見本市～

開催期間	見本市名	URL
12月1日(金)～ 12月3日(日) 英国 / バーミンガム	MCM Birmingham 2023 – MCMバーミンガム 【書籍、放送、映画、ゲーム用品】	https://www.jetro.go.jp/j- messe/tradefair/detail/129055
12月4日(月)～ 12月7日(木) アラブ首長国連邦 / ドバイ	The Big 5 Global Dubai 2023 【建築・建設】	https://www.jetro.go.jp/j- messe/tradefair/detail/128018
12月5日(火)～ 12月8日(金) 中国 / 上海	Marintec China 2023 【海運、造船、港湾関連機器】	https://www.jetro.go.jp/j- messe/tradefair/detail/128912
12月6日(水)～ 12月7日(木) ドイツ / ニュルンベルク	HYDROGEN DIALOGUE – SUMMIT & EXPO 2023【環境、先端技術、エネルギー】	https://www.jetro.go.jp/j- messe/tradefair/detail/125200
12月6日(水)～ 12月9日(土) インドネシア / ジャカルタ(現地・オンライン同時開	MANUFACTURING INDONESIA 2023 【機械・工業技術】	https://www.jetro.go.jp/j- messe/tradefair/detail/126886
12月7日(木)～ 12月9日(土) インド / ニューデリー	SIAL India 2023 (New Delhi) – シアル・インディア 【農林水産・食品、食品加工、包装、製造・生産技術】	https://www.jetro.go.jp/j- messe/tradefair/detail/127077
12月7日(木)～ 12月9日(土) ベトナム / ハノイ	Vietnam Medi-Pharm Expo 2023 (Hanoi) 【医療・病院用機器、医薬品】	https://www.jetro.go.jp/j- messe/tradefair/detail/128901
12月7日(木)～ 12月10日(日) 韓国 / ソウル	HOME – TABLE DECO FAIR SEOUL 2023 【家具・インテリア用品、食卓用品】	https://www.jetro.go.jp/j- messe/tradefair/detail/127251
12月8日(金)～ 12月10日(日) 米国 / マイアミビーチ	Art Basel in Miami Beach 2023 【美術工芸品、映像、フォト】	https://www.jetro.go.jp/j- messe/tradefair/detail/128936
12月12日(火)～ 12月16日(土) インド / バンガロール	EXCON 2023 – Construction Equipment Event in South Asia【建築・建設】	https://www.jetro.go.jp/j- messe/tradefair/detail/124167

※掲載されている見本市情報(開催時期や内容)は主催者により変更、延期、中止されることがあります。

新 着 図 書 資 料 情 報

★ここでは、かごしま海外ビジネス支援センターライブラリーで入手した図書を紹介しています。掲載されている資料は自由に閲覧することができます。

★ライブラリーでは、設置してあるパソコンを自由にご利用いただき、インターネットを使って貿易に関する情報を入手できます。

※セキュリティの為、一部閲覧できないサイトもございます。

★また、図書や資料等の充実を図るため、みなさまからのご要望も受け付けております。揃えてほしい資料等がございましたら、事務局までご連絡ください。

ライブラリー新着図書(R5.9.21～R5.10.20)

番号	資料名	発行者名	受入年月日
1	飛龍 日本香港協会ニュース No.104	日本香港協会	2023/09/21
2	TSR情報 No.2967	株式会社東京商工リサーチ	2023/09/22
3	鹿児島税関支署 管内貿易概況(令和5年8月分)	鹿児島税関支署	2023/09/28
4	日本貿易会月報 2023 9・10月号 No.818	一般社団法人日本貿易会	2023/10/02
5	HONG KONG LINER No.102	香港経済貿易代表部	2023/10/02
6	台湾情報誌 交流 2023年9月 vol.990	公益財団法人日本台湾交流協会	2023/10/03
7	INVEST ASIA Vol.16	Sufex TRADING	2023/10/04
8	INVEST ASIA INDUSTRIAL PARK GUIDE Vol.16	Sufex TRADING	2023/10/04
9	月刊グローバル経営 10月号 No.472	一般社団法人日本在外企業協会	2023/10/10
10	TSR情報 No.2969	株式会社東京商工リサーチ	2023/10/10
11	商工連ニュース みなみ風 第554号	鹿児島県商工会連合会	2023/10/11
12	Japanese RESTRANT news Vol.32 No.299	All Japan News , Inc.	2023/10/12
13	メッセ海外通信 Vol.66	(一財)山口県国際総合センター・山口県日中経済交流促進協会、日本貿易振興機構(ジェトロ)山口貿易情報センター	2023/10/12
14	TSR情報 No.2970	株式会社東京商工リサーチ	2023/10/13
15	KER Vol.403	株式会社九州経済研究所	2023/10/19
16	TSR情報 No.2971	株式会社東京商工リサーチ	2023/10/20
17	財界九州 11月号 No.1189	株式会社財界九州社	2023/10/20

☆☆☆ 鹿児島港（谷山）発着 国際コンテナ航路 ☆☆☆

「鹿児島港国際コンテナヤード」

九州地方港では最大級の冷凍冷蔵輸出入拠点へ

コールドチェーンの拠点として 電源コンテナ保管設備
電源プラグ 60本 対応可能、リーチスタッカーにてCY作業



鹿児島島の物流の中心地鹿児島港（谷山）発着 **琉球海運(株)** 運航スケジュール

鹿児島発 毎週木曜日 13時～

高雄港着 (所要日数 3日間)

高雄発 毎週日曜日 13時～

鹿児島着 毎週火曜日 17時着予定



【鹿児島港国際コンテナヤードでの荷役風景】

【ランプウェイ荷役（船内へシャーシで船積み）】

台湾（高雄港）を拠点に、世界各国へ輸出入コンテナのサービスを行います。

【お問い合わせ先】 ㈱共進組 海外営業部 担当 日高 TEL 099-203-0022

鹿児島県鹿児島市谷山港1丁目2-4 [“http://www.kyoshingumi.co.jp/”](http://www.kyoshingumi.co.jp/)

☆☆ 鹿児島港（谷山）発 輸出入国際コンテナドライ混載便ご案内 ☆☆

鹿児島市谷山港を拠点に、全世界輸出入可能な「国際コンテナドライ混載便」を開発。
世界的な混載便業者「イーキューワールドワイド」と鹿児島の港湾業者「共進組」が提携。
鹿児島市谷山のCFS（貨物集積場所）から薩摩川内港を利用した「毎週1便 たとえ1ヶ
ースからでもドライ貨物の輸出入が可能なサービス」が実現いたしました。

（輸出は毎週CFS CUT日 水曜日、薩摩川内港発金曜日定期便、輸入は隔週サービス）

現行遠方の国際港をご利用の皆様、またこれから小口の輸出入のご検討されている皆様方、
お見積もり及びリードタイム等、お気軽にお問合せ下さいませようお願い致します。

また、令和3年4月より「薩摩川内港貿易振興協議会」にて「輸出入国際コンテナドライ混
載便の補助金制度」が開始いたしました。1荷主1回利用@¥10,000-（年度内受付上
限金額10万円 *全体補助金枠内の先着順）となります。下記窓口までお問合せ下さい。

薩摩川内港貿易振興協会（補助金窓口） TEL 0996-25-3300

薩摩川内港より釜山へ船積み



谷山港より コンテナにて 薩摩川内港へ ドレー手配



ECU WORLDWIDE の釜山 貨物集積場

北米、南米
アフリカ
ヨーロッパ
ASEAN
他

日本全国各地及び
韓国、北中国の
混載貨物を集約、
仕分け分別し、
全世界向地別の
混載便を構築

ワールドワイドに混載便サービスを展開

鹿児島（谷山港）にて
混載コンテナに積載

「国際コンテナドライ混載便」のお問合せ先

TEL 099-203-0022

「イーキューワールドワイド株式会社 国際コンテナ混載便 代理店」

㈱共進組 海外営業部 担当 岩下 住所：鹿児島県鹿児島市谷山港1丁目24

薩摩川内港 vol.07

SATSUMASENDAIKOU NEWS

ニュース

※川内港は、正式名称として使用する場合を除き、通称として「薩摩川内港」を使用しています。

2023年4月



日特、川内港から輸出へ

スパークプラグの世界的シェアを誇る日本特殊陶業（本社名古屋、日特）は、さつま工場（さつま町）の一部製品の輸出港を川内港（薩摩川内市）に切り替えます。川内港は、さつま工場から35キロほど。20フィートコンテナで年間150個分を出荷する中東とオーストラリア向け製品を同港に回すことで、運送費や時間を削減でき、二酸化炭素の排出量を42トン減らせるということです。今年度からメキシコにも輸出する予定。

2022年9月21日の記念式典には、薩摩川内市やさつま町、県の関係者ら約40人が出席。



ウイスキー輸出本格化 小正嘉之助蒸留所 川内港から欧州へ

日置市の小正嘉之助蒸留所が、欧州向けウイスキーの輸出を本格的に開始する。川内港（薩摩川内市）を利用し、第1便は3月8日に出発しました。2023年3月1日に同社で記念式典が開かれました。

同社は2021年8月に小正醸造（日置市）のウイスキー事業を分社化して発足。これまで欧州へは神戸港（神戸市）から数量限定で輸出していました。事業参入から5年以上が経過し、定番商品を安定供給できる体制が整ったため、川内港へ切り替えることになりました。

同社によると、初便は「シングルモルト嘉之助」（700ミリリットル瓶3千本）です。



外貨コンテナサービス概要について

薩摩川内港における外貨コンテナ航路は、現在3航路週5便体制となっています。釜山港及び神戸港でのトランシップにより、中国、香港、台湾、アセアン諸国などとの接続も可能です。貿易案件がございましたら、ぜひ一度お問合せください。

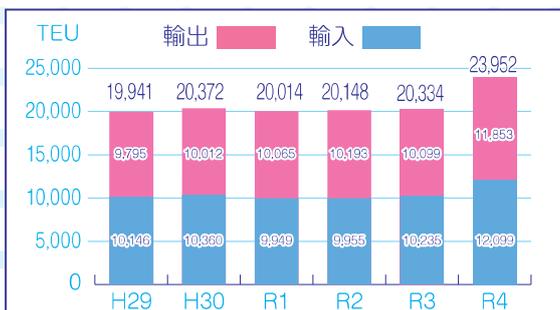
航路	船社	寄航曜日	寄港地
韓国航路 (週2便)	興亜LINE (株) (HEUNG-A LINE)	水	釜山→志布志(月)→長崎(火)→熊本(火) →薩摩川内(水)→八代(木)→伊万里(金)→釜山
		金	釜山→伊万里(水)→三池(木)→薩摩川内(金)→釜山
韓国航路 (週2便)	高麗海運(株) (KMTC)	火	釜山→伊万里(土)→門司(日)→徳山(月) →薩摩川内(火)→釜山(水)→広島(木) →伊予三島(金)→松山(土)→釜山
		水	釜山→長崎(月)→八代(火)→熊本(火) →薩摩川内(水)→釜山
国際フィーダー 航路(週1便)	OOCL・井本海運	日	神戸→薩摩川内(日)→神戸 ※国際フィーダー航路は貨物量に応じて増便

(2023年1月現在)



外貨コンテナ取扱量について

薩摩川内港の令和4年の外貨コンテナ取扱量は23,952TEU（前年比117.8%）となり5年連続で2万TEUを超える実績となりました。引き続き薩摩川内港利用を促進することで、安定したサービス提供を図ります。



	輸出	輸入
	取扱量 (TEU)	取扱量 (TEU)
平成29年	9,795	10,146
平成30年	10,012	10,360
令和1年	10,065	9,949
令和2年	10,193	9,955
令和3年	10,099	10,235
令和4年	11,853	12,099



*** 薩摩川内港（川内港）から世界へ!! ***

3 航路週5便で運航！！

1. 国際定期コンテナ航路について

現在、薩摩川内港には、OOCL による国際戦略港湾（神戸）と結ぶ国際フィーダー航路、HEUNG A LINECO., LTD（日本総代理店・株式会社シノコー成本）、高麗海運（KMTC）による韓国（釜山）航路、3 航路週5 便の国際定期コンテナ航路が開設されており、安定したサービスを提供しております。

鹿児島県西部地域の企業へのメリットとして、薩摩川内港を利用することによる国内輸送費の削減、OOCL、HEUNG A LINECO., LTD、KMTC のサービスネットワークによる東南アジア／中国／台湾等へのコンテナサービスの利用が可能であり、更に、全世界との物流ルートが確保されます。

■ 航路



航路概要及び船社紹介

3航路 週5便で運航!!

機能充実（ハーバークレーン更新）、利便性向上の薩摩川内港

▶ 運航スケジュール ◀

韓国(釜山)航路 (興亜LINE) HEUNG-A LINE	韓国(釜山)航路 (高麗海運) KMTC	国際フィーダー航路																								
<p>毎週水曜・金曜 週2便体制</p> <p>(1便目)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div>釜山</div> <div>志布志</div> <div>長崎熊本</div> <div>薩摩川内</div> <div>八代</div> <div>伊万里</div> <div>釜山</div> </div> <p>(月) (火) (水) (木) (金)</p> <p>(2便目)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div>釜山</div> <div>伊万里</div> <div>三池</div> <div>薩摩川内</div> <div>釜山</div> </div> <p>(水) (木) (金)</p>	<p>毎週火・水曜日 週2便体制</p> <p>(1便目)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div>釜山</div> <div>長崎</div> <div>八代</div> <div>熊本</div> <div>薩摩川内</div> <div>釜山</div> </div> <p>(日) (月) (火) (水) (木) (金)</p> <p>(2便目)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div>釜山</div> <div>伊万里</div> <div>門司</div> <div>徳山</div> <div>薩摩川内</div> <div>釜山</div> </div> <p>(金) (土) (日) (月) (火) (水)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div>釜山</div> <div>松山</div> <div>伊予島</div> <div>広島</div> </div> <p>(日) (土) (金) (木)</p>	<p>毎週日曜日・週1便体制 (最大週3便)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">神戸</div> <div style="font-size: 2em;">⇄</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">薩摩川内</div> </div> <p style="text-align: right;">(土)</p> <p>※国際フィーダー航路は貨物量に応じて増便</p>																								
 <p>《 船 社 》</p> <p>【興亜LINE株式会社】(韓国) HEUNG - A LINE CO.,LTD.</p> <p>《 日本総代理店 》</p> <p>【株式会社シノコー成本】 SINOKOR SEIHON CO.,LTD. 〒103-0027 東京都中央区日本橋二丁目13-10日本橋サンライズビル2F TEL: 03-3273-4981 FAX: 03-3281-8605</p> <p>川内港代理店</p> <p>【日本通運株式会社 川内支店 川内海運事業所】 〒899-1924 鹿児島県薩摩川内市港町360-16 TEL: 0996-31-2521 FAX: 0996-31-2522</p>	 <p>《 船 社 》</p> <p>【高麗海運株式会社】(韓国) Korean Marine Transport Co.,LTD.</p> <p>《 日本総代理店 》</p> <p>【高麗海運ジャパン株式会社】 〒105-0004 東京都港区新橋1丁目18-16 TEL: 03-3500-5055</p> <p>川内港代理店</p> <p>【中越物産株式会社】 〒899-1924 鹿児島県薩摩川内市港町字松原360-21 TEL: (0996)26-3335 FAX: (0996)26-3310</p>	 <p>《 船 社 》</p> <p>【OOCL(オリエントオーバーシーズコンテナライン)】(香港) ORIENT OVERSEAS CONTAINER LINE LTD. JAPAN BRANCH</p> <p>《 国内運航 》</p> <p>【井本商運株式会社】 IMOTO LINES CO.,LTD. 〒650-0035 神戸市中央区浪花町59神戸朝日ビル22F TEL: 078-322-1600 FAX: 078-322-1620</p> <p>川内港代理店</p> <p>【日本通運株式会社 川内支店 川内海運事業所】 〒899-1924 鹿児島県薩摩川内市港町360-16 TEL: 0996-31-2521 FAX: 0996-31-2522</p>																								
<p>乙仲業務・通関業務</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>【鹿児島海陸運送株式会社 谷山営業所】 〒891-0131 鹿児島県鹿児島市谷山港3-1-13 TEL: 099-262-0005 FAX: 099-262-0020</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>株式会社 共進組 外航事務所 〒891-0131 鹿児島県鹿児島市谷山港1丁目24 TEL: 099-203-0794 FAX: 099-260-0795</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>株式会社 上組 鹿児島支店 〒891-0122 鹿児島県鹿児島市南栄3丁目19-3 TEL: 099-269-4523 FAX: 099-267-7838</p> </div> </div>																										
<p>運航スケジュール</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>日</th> <th>月</th> <th>火</th> <th>水</th> <th>木</th> <th>金</th> <th>土</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入 港</td> <td>1 便</td> <td></td> <td>1 便</td> <td>2 便</td> <td></td> <td>1 便</td> <td></td> </tr> <tr> <td>行 先</td> <td>神戸</td> <td>-</td> <td>釜山</td> <td>釜山</td> <td>-</td> <td>釜山</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※中国定期コンテナ航路、台湾定期コンテナ航路については、休止中</p>				日	月	火	水	木	金	土	入 港	1 便		1 便	2 便		1 便		行 先	神戸	-	釜山	釜山	-	釜山	-
	日	月	火	水	木	金	土																			
入 港	1 便		1 便	2 便		1 便																				
行 先	神戸	-	釜山	釜山	-	釜山	-																			

2. 川内港唐浜地区整備 国直轄事業化

令和3年度、唐浜地区国際物流ターミナル整備が決定し、長さ230m、水深12m岸壁を設置し、岸壁は25年度、全体は27年度完成予定です。

これにより、**3万トン級の原木運搬船、2万3千トン級のコンテナ船**が入港可能となります。

また、平成27年3月には、南九州西回り自動車道の『薩摩川内高江ICー薩摩川内都IC』が開通し、『鹿児島ー薩摩川内水引』間が全線開通したことから、薩摩川内港への交通アクセスが更に充実しました。

川内港初の 国直轄事業化(港湾計画)の概要



国際物流拠点化へ

今回計画での 主な対応	〈物流・産業〉	<ul style="list-style-type: none"> 新たな用地造成、コンテナ・原木を扱う多目的ターミナルの整備 用地造成等とあわせた機能配置の再編、貨物保管機能の拡充 物流機能強化とあわせた原木輸出に係る港湾間連携
	〈安全・安心〉	<ul style="list-style-type: none"> 緊急物資輸送、地域産業の事業継続に資する耐震強化岸壁の整備 内港エリアにおける小型船の収容施設の整備

地区名	総事業費	事業区分	施設名	全体数量	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
唐浜地区	160億円	直轄	岸壁(水深12m)(耐震)	230	m							
			航路・泊地(水深12m)	22.0	ha							
			泊地(水深12m)	1.1	ha							
			ふ頭用地	5.0	ha							
		起債	荷役機械	1	基							

暫定供用

3. 薩摩川内港貿易補助金

①補助対象者

川内港において外貿定期コンテナ船（内航フィーダーコンテナ船を含む）又はその他外国船を利用し、外国との商取引を行う企業（個人経営者含む）に対して交付する。

②補助金

新規利用事業者	<ul style="list-style-type: none"> ■コンテナ貨物（1個当たり） 4万円 ■1年度当たりの上限額 80万円
復活利用事業者	<ul style="list-style-type: none"> ■コンテナ貨物（1個当たり） 3万円 ■1年度当たりの上限額 60万円
継続利用事業者	<ul style="list-style-type: none"> ■コンテナ貨物（1個当たり） 2万円 ■1年度当たりの上限額 40万円
リーファコンテナ加算	■コンテナ貨物（1個当たり） 1万円加算
産直港湾農産品加算	■コンテナ貨物（1個当たり） 1万円加算
薩摩國農産品加算	■コンテナ貨物（1個当たり） 2万円加算
新規・継続利用事業者	<ul style="list-style-type: none"> ■バラ貨物（1Kg当たり） 1円 ■1年度当たりの上限額 40万円

※製紙原材料であるチップの貿易活動は対象外となります。

※新規利用事業者：川内港貿易補助金の交付実績のない事業者

※継続利用事業者：前年度及び前々年度に川内港補助金の交付を受けている事業者

※コンテナは20フィート・40フィートに関わらず同額となります。

※薩摩國農産品加算は、薩摩國広域輸出促進協議会を構成する自治体内で収穫、生産又は製造された農産品の輸出を対象とする。

4. 薩摩川内港木材輸出促進補助金

①補助対象者

薩摩川内港を利用して木材を輸出した企業（個人経営者を含む。）に対して交付する。
なお、川内港貿易補助金との重複受給はできません。

②補助金（常熟港外）

新規利用事業者	<ul style="list-style-type: none"> ■コンテナ貨物（1個当たり） 4万円 ■1年度当たりの上限額 120万円
継続利用事業者	<ul style="list-style-type: none"> ■コンテナ貨物（1個当たり） 3万円 ■1年度当たりの上限額 90万円
新規・継続利用事業者	<ul style="list-style-type: none"> ■バラ貨物（1Kg当たり） 1円 ■1年度当たりの上限額 90万円 <p>※バラ貨物は1回の貿易行為当たり45万円を上限とし、1年度あたり2回を上限とする</p>
燻蒸加算 (新規・継続利用事業者)	<ul style="list-style-type: none"> ■コンテナ貨物 川内港からコンテナ貨物として輸出される木材のくん蒸に要した費用に対して補助する。50㎡以上のくん蒸1回当たり15万を加する。1年度当たり3回を上限とする。 ※くん蒸箇所は川内港周辺部(薩摩川内市港町)に限る。 ■バラ貨物 川内港からコンテナ貨物として輸出される木材のくん蒸に要した費用に対して補助する。50㎡以上のくん蒸1回当たり15万を加する。1年度当たり2回を上限とする。 ※くん蒸箇所は川内港周辺部(薩摩川内市港町)に限る。

※新規利用事業者：前年度及び前々年度に川内港補助金の交付を受けていない事業者

※継続利用事業者：前年度及び前々年度に川内港補助金の交付を受けている事業者

※コンテナは20フィート・40フィートに関わらず同額となります。

③補助金（常熟港）

新規利用事業者	<ul style="list-style-type: none"> ■コンテナ貨物（1個当たり） 5万円 ■1年度当たりの上限額 150万円
継続利用事業者	<ul style="list-style-type: none"> ■コンテナ貨物（1個当たり） 4万円 ■1年度当たりの上限額 120万円
新規・継続利用事業者	<ul style="list-style-type: none"> ■バラ貨物（1Kg当たり） 1円 ■1年度当たりの上限額 180万円 <p>※バラ貨物は1回の貿易行為当たり45万円を上限とし、1年度あたり4</p>

	回を上限とする
燻蒸加算 (新規・継続利用事業者)	■コンテナ貨物 川内港からコンテナ貨物として輸出される木材のくん蒸に要した費用に対して補助する。50㎡以上のくん蒸1回当たり15万を加する。1年度当たり3回を上限とする。 ※くん蒸箇所は川内港周辺部(薩摩川内市港町)に限る。
	■バラ貨物 川内港からコンテナ貨物として輸出される木材のくん蒸に要した費用に対して補助する。50㎡以上のくん蒸1回当たり15万を加する。1年度当たり4回を上限とする。 ※くん蒸箇所は川内港周辺部(薩摩川内市港町)に限る。

※新規利用事業者：前年度及び前々年度に川内港補助金の交付を受けていない事業者

※継続利用事業者：前年度及び前々年度に川内港補助金の交付を受けている事業者

※コンテナは20フィート・40フィートに関わらず同額となります。

5. 薩摩川内港製材輸出促進補助金

①補助対象者

薩摩川内港を利用して製材を輸出した企業（個人経営者を含む。）に対して交付する。なお、川内港貿易補助金及び川内港**木材**輸出促進補助金との重複受給はできません。

②補助金

新規利用事業者	■コンテナ貨物(1個当たり) 6万円 ■1年度当りの上限額 180万円
継続利用事業者	■コンテナ貨物(1個当たり) 4万円 ■1年度当りの上限額 120万円
新規・継続利用事業者	■バラ貨物(1Kg当たり) 2円 ■1年度当りの上限額 100万円 ※バラ貨物は1回の貿易行為当たり50万円を上限とし、1年度あたり2回を上限とする

※新規利用事業者：前年度及び前々年度に川内港補助金及び川内港製材輸出促進補助金の交付を受けていない事業者

※継続利用事業者：前年度及び前々年度に川内港補助金及び川内港製材輸出促進補助金の交付を受けている事業者

※コンテナは20フィート・40フィートに関わらず同額となります。

6. 小口混載サービス利用促進補助金

①補助対象者

川内港を利用した外貿定期コンテナ船を利用する利用運送事業者（第2種）による小口混載サービスを受けた事業者（個人事業者含む）。なお、川内港貿易補助金との重複受給はできません。

②補助金

小口混載利用事業者	■小口コンテナサービス利用(1回当たり)1万円 ※1交付対象者当たり10回まで及び2か年度までを上限とする
-----------	---

7. 川内港農産品輸出促進トライアル補助金

①補助対象者

川内港を利用し、新たに農産品の輸出に取り組む事業者、または、新たな国・地域へ農産品の輸出に取り組む企業（個人経営者を含む。）に対して交付する。なお、川内港貿易補助金との重複受給はできません。

②補助金

補助対象経費	■国内での輸送に要する経費 ■川内港から仕向港への会場輸送に要する経費 ■国内荷役・梱包・保管等に要する経費 ■通関・検疫等の輸出手続きに要する経費
補助額	補助対象経費に1/2とする。ただし、1補助対象者1年度あたり20万円を上限とする。

8. リーファーコンセントの口数について

440V：25口（令和2年度増設しました）

9. リーファコンセント利用促進補助金

川内港冷蔵・冷凍用電源施設（リーファコンセント）を利用した事業者（個人事業者含む）

リーファコンセント利用事業者	■鹿児島県が請求する冷蔵・冷凍用電源施設（リーファコンセント）料の1/2 ※鹿児島県港湾管理条例で1時間 350円となっているリーファコンセント使用料1/2助成することで1時間あたり 175円とする。
----------------	---

【問い合わせ先】

薩摩川内市貿易振興協会（薩摩川内市国際交流センター内）

TEL・FAX 0996-25-3300

薩摩川内市 経済シティセールス部 産業戦略課

TEL 0996-23-5111（内線5771）FAX 0996-20-5570

■■ 南九州における国内外との物流拠点 ■■

1 志布志港について

志布志港は、九州南東部の太平洋に面した**地理的優位性**を有し、また国内有数の農畜産地域である南九州地域を背後地に持ち、南九州地域における国内外との物流拠点、飼料供給基地として、背後地域の産業を支えている重要港湾です。

【志布志港全景】



2 定期航路及び港湾施設・志布志港周辺の整備について

志布志港では、現在、外貿定期コンテナ航路が、**中国、台湾、韓国と国際フィーダー航路**を含めた**4航路週9便**体制で就航しており、神戸や釜山でのトランシップにより世界各国と結ばれています。また、大阪、東京、沖縄等を結ぶ内航フェリー・RORO船も充実しております。

国際コンテナターミナルの**岸壁が延伸され、2隻同時接岸による効率的な荷役作業が可能**となりました。また、志布志港周辺においては、東九州自動車道や都城志布志道路の整備ならびに物流倉庫の立地が進むなど**物流機能向上**が図られています。

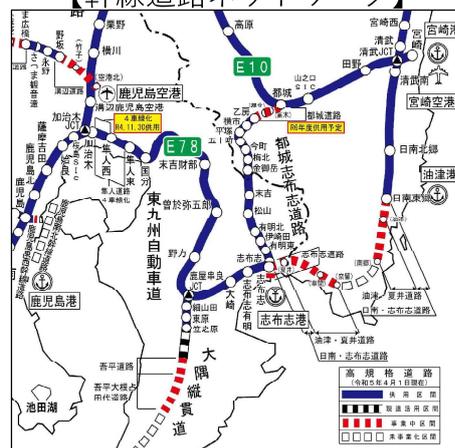
【航路概要】



【国際コンテナターミナル（2隻同時接岸）】



【幹線道路ネットワーク】



3 志布志港の輸出入促進について

志布志港の更なる利用促進を図るため、**促進トライアル事業**を実施しています。

御活用のほどよろしくお願ひします。

リンク先：

<https://www.pref.kagoshima.jp/ah09/trial/trialtop.html>

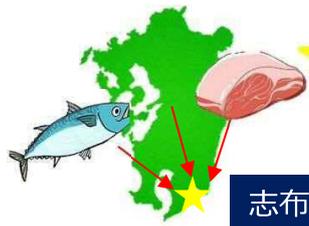
「輸出入」

貴社生産の農林水産物・食品等を
志布志港から輸出してみませんか？
(小口混載からも可。)

志布志港 小口混載 検索

南九州の農林水産物・食品を、
志布志港から世界へ！

志布志港、**冷凍小口混載輸出**
を始めました！！



輸出を後押しする、
補助金あります！
(詳細は志布志市HPをご覧ください)

志布志港



令和4年5月に、
小口貨物を混載して、
海外輸出しました！

ぜひ、志布志港から
農林水産物・食品の輸出を
一緒にしてみませんか？

【志布志港から各地への輸送日数】

【小口冷凍貨物】

仕向地(輸出先国)	所要日数
香港港(中国)	11日
シンガポール港	17日
台北港(台湾)	※調整中

【小口ドライ貨物】

仕向地(輸出先国)	所要日数	仕向地(輸出先国)	所要日数
香港港	14日	ロサンゼルス港	30日
高雄港(台湾)	15日	ニューヨーク港	39日
基隆港(台湾)	17日	シカゴ港	47日
バンコク港(タイ)	19日	ロッテルダム港(オランダ)	54日
レムチャバン港(タイ)	22日	サウザンプトン港(イギリス)	55日
ハイフォン港(ベトナム)	17日	ドバイ港(UAE)	38日
シンガポール港	22日	シドニー港(オーストラリア)	36日



※上記の仕向地(輸出先国)は一部であり、**世界160カ国への輸出が可能**です。まずはご相談ください！
～【農林水産物・食品の海外輸出に興味がある場合は、以下の連絡先までご連絡ください】～

【小口混載に関する相談窓口】 イーキューワールドワイド(株) 080-6215-9384

【輸出に関する相談窓口】 志布志市役所 099-472-1111

【輸出全般の相談窓口】 港湾振興係 内線 (251・253) kouwansinkou@city.shibushi.lg.jp

【企業に関すること】 企業立地推進係 内線 (252・254) kigyouritti@city.shibushi.lg.jp

【農産物に関すること】 茶業振興係 内線 (434・431) tyagyousinkou@city.shibushi.lg.jp

【輸出通関手続きに関する相談窓口】

(株)上組志布志支店 099-473-2497 / 日本通運(株)志布志支店 099-472-1121/

東洋埠頭(株)志布志支店 099-472-1771 / (株)山下回漕店 099-472-1401

鹿児島海陸運送(株) 志布志営業所 099-472-7666

志布志港食品輸出小口混載貨物助成事業 (ドライ貨物・冷凍(リーファー又はCA)貨物)

◆事業目的◆

食品等の小口貨物を輸出するニーズの高まりや国が農林水産物・食品輸出目標額を5兆円(2030年まで)に設定(令和2年3月31日)したことを受けて、志布志港発着する外貿コンテナ定期航路、または、国内定期航路を利用する食品の小口貨物をコンテナに混載し輸出する荷主企業に対して、予算の範囲内で輸出に係る経費の一部を助成し、食品輸出の促進を図ることを目的としています。

◆助成内容◆

対象者	要件	助成額
<ul style="list-style-type: none"> ・日本国内に事業所を有し、1年以上事業活動を継続している企業 ・船荷証券(B/L)の出しの荷主企業 	<ul style="list-style-type: none"> ・志布志港発着の外貿コンテナ定期航路及び国内定期航路を活用した輸出コンテナ(リーファー及びCA)貨物 ・通関手続きが長崎税関鹿児島税関支署志布志出張所管轄でなされた貨物 ・複数企業によるコンテナ混載の食品貨物(LCL貨物) 	<ul style="list-style-type: none"> ・助成額 ドライ:4千円/1RT 冷凍:1万円/1RT ・1コンテナへ混載する助成限度額 ドライ:1万2千円/1荷主 冷凍:2万円/1荷主 ・年間助成金限度額 ドライ:12万円/1荷主 冷凍:20万円/1荷主

◆申請方法◆

混載貨物の荷主が①単独で助成金交付申請を行うか、②他の混載貨物荷主の同意を得て混載貨物荷主の代表者(商社等)として一括して助成金交付申請を行うかの2つの方法があります。

(1)助成金申請に必要な書類

- ・助成金交付申請書(様式第1号)
- ・助成金申請代表者同意確認書(様式第2号) ※荷主代表者による申請の場合
- ・船荷証券(B/L)の写し
- ・輸出許可通知書の写し
- ・輸出小口混載貨物輸送証明書(様式第3号) ※国内定期航路利用時のみ
- ・定款及び法人の登記事項証明書 ※志布志市輸出関連助成金新規利用者のみ

(2)助成金請求に必要な書類

- ・助成金交付請求書(様式第5号)
- ・助成金交付決定通知書(様式第4号)の写し ※当協議会からの決定通知書

【お問い合わせ】

〒899-7192 鹿児島県志布志市志布志町志布志二丁目1番1号
志布志港湾振興協議会事務局(志布志市役所 港湾商工課港湾振興係内)
TEL:099-472-1111(内線253) FAX:099-473-2203
MAIL:kouwansinkou@city.shibushi.lg.jp

相談料
無料！！

貿易相談のご案内

(公社)鹿児島県貿易協会では、県内企業等の海外事業展開を支援するため、貿易実務・関税・金融など専門のアドバイザーによる貿易相談を実施しています。

海外との貿易取引に関する基礎知識、輸出入の諸手続き、交渉の進め方、決済の方法、その他海外との取引に関する様々なご相談に応じることにしています。

現在、既に海外との貿易を展開中の方、これから海外貿易を検討したいと考えておられる方などお気軽に貿易相談をご活用ください。

オンラインでの相談も実施しております！！

- 相談日：随時
- 時間：随時
- 場所：鹿児島市鴨池新町10番1号
(鹿児島県庁9階 販路拡大・輸出促進課)
※オンラインでの相談可
- 相談料：**無料**
- アドバイザー：貿易実業者、金融機関、通関実務者、
商社等からの専門アドバイザーが対応。
- 相談方法：個別相談
(事前に電話等でご予約ください。)
TEL：099-251-8484



～アドバイザーのご紹介～

担当	アドバイザー	役職名
実務	弓場 秋信	弓場貿易(株) 代表取締役
通関	梅木 洋一郎	(株)共進組 海外営業部 執行役員部長 通関士
金融	森口 真也	(株)鹿児島銀行 地域支援部 国際ビジネス推進室 室長

翻訳・通訳サービスの御案内

アイエス通訳システムズでは、翻訳・通訳サービスを承ります。貿易協会会員は割引価格（一般の5%引き）で利用できます。

海外への手紙、契約書の翻訳や通訳についてお気軽にお問合せ下さい。

(基準翻訳料金表)				
日本語→外国語		言語	外国語→日本語	
貿易協会会員	一般		貿易協会会員	一般
¥5,700～	¥6,000～ (400字/1頁)	英語	¥3,800～	¥4,000～ (400字/1頁)
¥5,700～	¥6,000～ (400字/1頁)	韓国語	¥3,800～	¥4,000～ (400字/1頁)
¥5,700～	¥6,000～ (400字/1頁)	中国語	¥3,800～	¥4,000～ (400字/1頁)
¥6,175～	¥6,500～ (400字/1頁)	その他	¥4,750～	¥5,000～ (400字/1頁)

一般通訳（英中韓）料金表		
	貿易協会価格	一般価格
1日料金（8H）	¥57,000+税	¥60,000+税
半日料金（4H）	¥33,250+税	¥35,000+税

【お問い合わせ先】

〒892-0824 鹿児島市大黒町 4-1-2F
TEL : 099-227-5173 FAX : 099-227-2767
Email: info@ists.jp



メーリングリストの御案内

当協会では、貿易情報を迅速に提供・交換するためインターネットを使ったメーリングリスト（以下「ML」という）を開設しています。

商談会や見本市、セミナー・イベントなどの最新情報等を随時発信しています。

参加登録は随時受け付けておりますので、関心のある方は事務局 (info@kibc-jp.com) までご連絡ください。

(ML とは、リストに参加している全員に同一のメールを同時に一斉配信するインターネットの機能です)

※ご質問等に関しては、当協会アドレス (info@kibc-jp.com) へお願いいたします。

ML に直接返信されるとリスト内メンバー全員に流れてしまいます。

鹿児島県貿易協会新規入会会員の募集

当協会では、新規に入会していただける会員企業を広く募集しております。
鹿児島県下に事務所や事業所を有し、海外との取引に興味のある企業をご存知でしたら、
ぜひ事務局までご紹介くださいますようお願いいたします。

貿易協会概要

鹿児島県下に事業所を持つ貿易業及びこれに関連する事業を営む者並びに関係機関・団体
等で構成される公益社団法人です。

会員の相互の連携により、海外ビジネス情報の交換、海外市場の調査、海外取引の斡旋、
研究発表などを実施し、海外貿易の促進・振興を図り、鹿児島の経済発展に寄与すること
を目的に活動しています。

【設立】：1957年2月22日

【会員数】：118社（令和5年10月1日現在）

【役員】：会長 塩田 康一

理事 21名

監事 2名

貿易協会の業務

- ① 海外市場開拓の支援
見本市参加、商談会開催
- ② 貿易相談
取引業務や苦情処理など貿易を巡る諸相談
- ③ 貿易講演会等の開催
海外市場等に関するセミナーや講演会
- ④ 貿易刊行物の発行・頒布
貿易ニュース鹿児島、ACCESS
- ⑤ インターネットを活用した情報発信
ホームページ、メーリングリスト
- ⑥ かごしま海外ビジネス支援センターの運営
県内企業・個人に対する海外ビジネスの支援

入会金と会費

【入会金】個人 3,000 円（2種会員）

団体 3,000 円（1種・2種・3種会員共通）

【会費】1種会員費・・・団体 30,000 円（年額）

2種会員費・・・個人 24,000 円（年額）

団体 24,000 円（年額）

3種会員費・・・団体 50,000 円（1口あたり/年額）

※1種会員とは外国航路船舶会社、通関業者、金融機関、役員所属企業など。

※3種会員とは地方公共団体、商工会議所、商工会の団体。